事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0344 - 01

令和5年度セグメントシート

(海洋研究開発機構)

セグメント名	研究開発事業			担当部局	研究開発局	作成責任者		
事業開始年度	平成16年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	海洋地球課	海洋地球課長 山之内 裕哉		
会計区分	一般会計							
セグメント単位の考え方	-							
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国立研究開発法人海洋研究開発機構法第17条			関係する計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定) 海洋基本計画(令和5年4月閣議決定)等			
				主要経費	科学技術振興費			
事業の目的 (5行程度以内)	平和と福祉の理念に基づき、海洋に関する基盤的研究開発、海洋に関する学術研究に関する協力等の業務を総合的に行うことにより、海洋科学技術の水準の向上を図るとともに、学術研究の発展に資することを目的とする。							
現状・課題 (5行程度以内)	海洋観測や多様な研究開発による高水準の成果の創出及びその普及・展開等、引き続き我が国の海洋科学技術の中核的機関としての役割を担うことが重要である。また、その際、我が国全体としての海洋科学技術の研究開発成果を最大化するために、国内外を含めた他機関との分担や協働の在り方を最適化し、現状の連携をより一層強化するとともに、新たな協働体制を確立することが期待される。さらに、将来にわたって、海洋に関する研究開発を推進し、海洋科学技術の持続的な発展へ貢献するために、必要な人材の育成と確保に取り組む必要がある。							
事業概要 (5行程度以内)	本事業では、海洋科学技術に関する基盤的研究開発を推進するため、「地球環境の状況把握と変動予測のための研究開発」、「海洋資源の持続的有効利用に資する研究開発」、「海域で発生する地震及び火山活動に関する研究開発」、「数理工学的手法による海洋地球情報の高度化及び最適化に係る研究開発」、「挑戦的・独創的な研究開発の推進」、「海洋調査プラットフォームに係る先端基盤技術開発と運用」を重点研究開発と位置づけ実施している。							
事業概要URL	https://www.jamstec.go.jp/j/about/project/pdf/mokuhyo2019.pdf							
予算額・執行額 (単位:百万円)	経常収益	予算額	当初予算: 運営費交付金(A)	31,635	25,664	26,148	25,933	-
			補正予算: 運営費交付金(B)				565.8	-
			令和5年度第1次補正予算				565.8	
		執行額	運営費交付金(C)	24,522	23,436	23,474		
			補助金等(D)	275	93	87		
			その他(E)	6,060	5,888	5,669		
	計(F) =(C)+(D)+(E)		30,857	29,417	29,230			
	運営費交付金収益の割合 =(C)/(F)	79.5%	79.7%	80.3%				
	運営費交付金収益化基準	業務達成基準	業務達成基準	業務達成基準	業務達成基準			
	経常費用	予算額(G)	-	-	-			
		執行額(H)	31,671	29,696	29,551			
		執行率(I) =(G)/(H)	-	-	-			
	令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
(項)		国立研究開発法人海洋研究開発運営費			-			
(目)		国立研究開発法人海洋研究開発運営費交付金	25,933					
		その他						
		計(A)	25,933	-				

活動内容① (アクティビティ)	我が国の海洋科学技術の中核的機関として、社会的・政策的課題や地球規模の諸課題の解決に向け、関係機関に対して積極的に科学的知見を提供する。									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	国内外で実施されている研究、海洋状況把握(MDA)を始めとした我が国の 施策及び国際的な枠組み・プロジェクトの推進や、世界の海洋科学技術の発 展に貢献するため、その保有する研究開発基盤等によって所蔵した各種デ ータやサンプルに関する情報を効果的に提供する。	海洋環境や海洋生態系に関す る観測データの取得状況(J- OBISへのデータ提供数)	活動実績		件数	29,494	31,045	32,489	-	-
当初見込み				件数	29,502	29,494	31,045	32,489	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	「海洋環境や海洋生態系に関する観測データの取得状況(J-OBISへのデータ提供数)」が増加することで、機構の研究開発成果の創出が図られ、短期アウトカム「Web of Science収録誌に掲載された論文数」の増加に向けた相乗効果につながる。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度		
	海洋に関する各種データや科学的知見等 を活用し、研究開発成果の創出を図る。	Web of Science収録誌に掲載 された論文数 ※前年度の実績は6月上旬に 集計後、記載予定	成果実績		件	626	608	556	-	
			目標値		件	519	626	608	-	
達成度				%	120.6	97.1	91.4	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	法人からのヒアリングにより記載。									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	「Web of Science収録誌に掲載された論文数」が増加することで、機構の研究開発成果が国内外の他機関による研究に活用され、論文被引用数の増加につながるため、「論文被引用数」を長期アウトカムとして設定している。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度		
	海洋に関する各種データや科学的知見等 をを基に創出された研究開発成果を活用 する。	論文被引用数 ※直近5年間の間にWeb of Science 収録誌に掲載された機構所属の著 者が含まれる論文が、今年度に引用 された回数	成果実績		件	11,481	14,235	13,319	-	
			目標値		件	10,048	11,481	14,235	-	
達成度				%	114.3	124	93.6	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	「国立研究開発法人海洋研究開発機構の業務の実績に関する評価」 ※第4期中長期目標期間の中で最も大きい実績値を目標最終年度の目標値とするため、令和6年度の実績値が確定次第、目標最終年度の目標値を設定する。									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容② (アクティビティ)	国際的な枠組みの下で実施されている全球海洋観測システムの維持運用の一環として、アルゴフロート(漂流型自動観測フロート)を投入・展開し、観測データを取得する。								
↓									
活動目標及び活動実績② (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	観測により得られたデータの蓄積・分析やモデルの高度化を行うことで、昇温、海洋酸性化、負酸素化、生態系変動等の海洋に及ぼされる地球環境変化の実態把握やプロセスの理解を進める。また、得られた成果については、国内外の各種活動を通じて発信することで、我が国及び国際社会等における政策の立案等に貢献する。	海洋環境に関する観測データの取得状況(アルゴフロートによるプロフィール数)	活動実績	数	7,735	9,350	6,296	-	-
			当初見込み	数	8,940	7,735	9,350	6,296	-
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	「海洋環境に関する観測データの取得状況(アルゴフロートによるプロフィール数)」が増加することで、これを用いた研究開発成果の創出が図られ、短期アウトカム「Web of Science収録誌に掲載された論文数」の増加に向けた相乗効果につながる。							
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度	
	海洋に関する各種データや科学的知見等を活用し、研究開発成果の創出を図る。	Web of Science収録誌に掲載された論文数 ※前年度の実績は6月上旬に集計後、記載予定	成果実績	件	626	608	556	-	
			目標値	件	519	626	608	-	
			達成度	%	120.6	97.1	91.4	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	法人からのヒアリングにより記載。								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	「Web of Science収録誌に掲載された論文数」が増加することで機構の研究開発成果が国内外の他機関による研究に活用され、引用論文数の増加につながるため、「高被引用論文数」を長期アウトカムとして設定している。							
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
	海洋に関する基盤的な研究開発、船舶や探査機等の運用を通じ成果を創出する。	過去10年間における高被引用論文(※)数 ※Clarivate Analytics社のデータベースである、Essential Science Indicatorsでは、科学全体を大きく22の研究分野に分類しており、それぞれの分野において被引用数が上位1%の論文を高被引用論文(Highly Cited Papers)と定義している。	成果実績	件数	94	96	93	-	
			目標値	件数	92	94	96	-	
			達成度	%	102.2	102.1	96.9	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	法人からのヒアリングにより記載 ※第4期中長期目標期間の中で最も大きい実績値を目標最終年度の目標値とするため、令和6年度の実績値が確定次第、目標最終年度の目標値を設定する。								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								

アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック	
独法所管部局による点検・改善								
点検結果	関係機関に対して積極的に科学的知見を提供の実施や、アルゴフロートのデータ取得により、業務実績に係る評価及び研究成果に係る評価にて、令和3年度の評価は、目標を超える評価結果を得ることとなり、一定の成果を得たものと考えている。 随意契約を締結することとなる案件については、機構内に設置された契約審査チームにより、会計規程における「随意契約を締結することができる事由」との整合性やより競争性のある調達手続の実施の可否について、少額案件、競争性のある契約に区分される案件は除き、全件の事前審査を実施している。また、契約金額3,000万円を超える随意契約については、機構内に設置した契約審査委員会において、会計規程との整合性やより競争性のある調達手続の実施の可否の観点等から、随意契約の適用の適否や随意契約の相手方の適否について審査する体制となっている。更に、随意契約限度額以上の契約について、外部有識者で構成されている契約監視委員会による事後点検を実施している。						目標年度における効果測定に関する評価(令和8年度)	
改善の 方向性	調達等合理化計画に基づく取組の状況等について、独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)に基づく業務実績評価等を通じて検証等を行う。							
備考								
支出先上位10者リストの落札率は、同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表。								

文部科学省
21,866百万円

運営費交付金として交付

【A】

国立研究開発法人
海洋研究開発機構
21,866百万円

【随意契約（公募）等、役務

【B】

研究開発事業

民間企業等
(6,224件)

21,866百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万円)

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本電気株式会社	7010401022916	管理サーバ用RedHat保守ライセンスの購入	0.2	随意契約(少額)	-	-	
2	日本電気株式会社	7010401022916	ストレージ装置の修理	0.1	随意契約(少額)	-	-	
3	日本電気株式会社	7010401022916	共有ファイルサーバシステム用基本ソフトウェアの保守ライセンスの購入	0.1	随意契約(少額)	-	-	
4	日本電気株式会社	7010401022916	大容量ストレージ装置およびその管理サーバの保守	0.1	随意契約(少額)	-	-	
5	日本電気株式会社	7010401022916	共有ファイルサーバシステムの保守	0.1	随意契約(少額)	-	-	
6	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	海洋地球観測・探査・試料分析等に係る科学支援業務	795	随意契約(公募)	-	-	
7	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	2022年度高知コア研究所技術支援業務	54	随意契約(公募)	-	-	
8	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	「かいめい」CTD採水装置用フレーム等の製作	10	随意契約(不 落・不調)	-	-	
9	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	サンドイッチ凍結装置の購入	1	随意契約(少額)	-	-	
10	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	北極域研究船の研究・観測区画の配置決定に係る技術支援業務	1	随意契約(少額)	-	-	
11	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	スイベルの購入	1	随意契約(少額)	-	-	
12	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	ADCPガードフレームの製作	0.9	随意契約(少額)	-	-	
13	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	ADCP用CTD取付治具の製作	0.9	随意契約(少額)	-	-	
14	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	10500m級データロガー用耐圧容器の製作	0.8	随意契約(少額)	-	-	
15	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	ネット調達システムを通じた購入6月分	0.8	その他	-	-	
16	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	横須賀市における沿岸・河川モニタリング用カメラの設置業務	0.8	随意契約(少額)	-	-	
17	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	ラックの購入	0.7	随意契約(少額)	-	-	
18	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	ニスキンボトル架台の製作	0.7	随意契約(少額)	-	-	
19	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	ヘリウムガス置換容器の購入	0.6	随意契約(少額)	-	-	
20	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	電波灯台実証機開発のための予備試験の補助業務	0.5	随意契約(少額)	-	-	
21	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	ガードフレームの購入	0.4	随意契約(少額)	-	-	
22	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	表層海水連続装置用DOセンサハウジングの製作	0.2	随意契約(少額)	-	-	
23	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	コンペンセータのメンテナンス	0.2	随意契約(少額)	-	-	
24	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	額の確定に伴う精算(海洋地球観測・探査・試料分析等に係る科学支援業務)	0.2	その他	-	-	
25	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	ガードフレーム部品の購入	0.2	随意契約(少額)	-	-	
26	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	ROV用スラップガンの修理	0.2	随意契約(少額)	-	-	
27	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	ANCO回収装置の製作	0.2	随意契約(少額)	-	-	
28	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	ネット調達システムを通じた購入11月分	0.2	その他	-	-	
29	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	絶縁ワッシャーおよびスペーサーの購入	0.1	随意契約(少額)	-	-	
30	株式会社マリンワーク・ジャパン	3020001032681	ネット調達システムを通じた購入2月分	0.1	その他	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となっ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社マリン・ワーク・ジャパン	3020001032681	亜鉛電極の購入	0.1	随意契約(少額)	-	-	
2	株式会社マリン・ワーク・ジャパン	3020001032681	ニスキンボルト用ラックの改造	0.1	随意契約(少額)	-	-	
3	株式会社マリン・ワーク・ジャパン	3020001032681	ネット調達システムを通した購入7月分	0.1	その他	-	-	
4	株式会社マリン・ワーク・ジャパン	3020001032681	バルブ固定治具の製作	0.1	随意契約(少額)	-	-	
5	株式会社マリン・ワーク・ジャパン	3020001032681	ネット調達システムを通した購入5月分	0.1	その他	-	-	
6	株式会社マリン・ワーク・ジャパン	3020001032681	額の確定に伴う精算(2021年度高知コア研究所技術支援)	0	その他	-	-	
7	東京電力パワーグリッド株式会社	3010001166927	電気料(横浜・ES)	424	随意契約(不落・不調)	0	-	
8	三菱重工業株式会社	8010401050387	「しんかい6500」主蓄電池装置の製作(7号機)【随意契約(その他)令和3年度～令和4年度】	333	その他	-	-	
9	東京海上日動火災保険株式会社	2010001008824	「ちきゅう」船舶保険の更新【随意契約(公券)(令和3年度～令和5年度)】	266	その他	-	-	
10	NECキャピタルソリューション株式会社	8010401021784	汎用高性能計算機システム【一般競争(総合評価)(平成29年度～令和5年度)】	214	その他	-	-	
11	NECキャピタルソリューション株式会社	8010401021784	リモートアクセスサブスクリプションの賃借	2	随意契約(不落・不調)	1	-	
12	東京電力エナジーパートナー株式会社	8010001166930	電気料(横浜・ES)	162	その他	-	-	
13	東京電力エナジーパートナー株式会社	8010001166930	電気料(初島陸上局)	0.8	その他	-	-	
14	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	イリジウム送信機搭載自動昇降型中層フロートの購入	37	随意契約(不落・不調)	1	-	
15	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	係留用ADCP機材の購入	19	一般競争契約(最低価格)	1	-	
16	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	RB-RargoCTD搭載イリジウム送信機型自動昇降型中層フロートの購入	11	随意契約(不落・不調)	1	-	
17	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	イリジウム送信機搭載自動昇降型中層フロートの購入【一般競争(技術審査)(令和3年度～令和4年度)】	10	その他	-	-	
18	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	イリジウム送信機搭載自動昇降型中層フロートの購入【一般競争(技術審査)(令和3年度～令和4年度)】	10	その他	-	-	
19	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	RB-RargoCTD搭載型APEXプロファイリングフロートの購入	8	随意契約(不落・不調)	1	-	
20	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	RB-RargoCTD搭載イリジウム送信機型自動昇降型中層フロートの購入【随意契約(不落・不調)(令和3年度～令和4年度)】	7	その他	-	-	
21	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	イリジウム送信機搭載自動昇降型フロートの購入	3	一般競争契約(最低価格)	1	-	
22	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	LADCP用バッテリーパック購入	1	随意契約(少額)	-	-	
23	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	ワークホースADCP修理	0.9	随意契約(少額)	-	-	
24	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	音響切離装置およびワークホースADCP点検・整備	0.7	随意契約(少額)	-	-	
25	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	WaveGlider不具合調査及び修理	0.3	随意契約(少額)	-	-	
26	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	水中音響切離し装置の点検整備	0.3	随意契約(少額)	-	-	
27	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	ADCPフレーム用アノードの購入	0.3	随意契約(少額)	-	-	
28	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	流向流速計の整備点検	0.3	随意契約(少額)	-	-	
29	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	LADCP用バッテリーパックの購入	0.3	随意契約(少額)	-	-	
30	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	リチウムバッテリーパックの購入	0.2	随意契約(少額)	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となっ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	ワークホースADCPの点検・整備	0.2	随意契約(少額)	-	-	
2	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	水中音響切離装置バッテリーの購入	0.2	随意契約(少額)	-	-	
3	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	垂下式音響流速計の点検・整備	0.1	随意契約(少額)	-	-	
4	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	観測用消耗品の購入	0.1	随意契約(少額)	-	-	
5	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	水中切離装置865A用バッテリーの購入	0.1	随意契約(少額)	-	-	
6	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	トランスポンダの点検・整備	0.1	随意契約(少額)	-	-	
7	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	深海用音響流速計バッテリーケースの点検・修理	0.1	随意契約(少額)	-	-	
8	株式会社ハイドロシステム開発	5120001111325	ノンロッキングスリーブアセンブリーの購入	0	随意契約(少額)	-	-	